

■ 屋上緑化への取り組み

法政大学市ヶ谷キャンパス

屋上緑化への取り組み

2005年春、法政大学市ヶ谷キャンパスに新たな憩いのスペースが誕生しました。58年館屋上とボアウォードタワー（BT）4階テラスは、以前の絶景な風景から一転し、鳥や昆虫が集まり、草木が殖え、人が憩う、緑溢れる空間に生まれ変わりました。

この屋上緑化は学生の提案、企画から始まり、大学と学生との協働によって実現しました。既存の建物を対象とし、このような画期的なプロセスを経て実現した屋上緑化は、全国で初めての事例であるとして注目を集めています。

学生や教職員が憩いの場となった屋上緑化スペースを、今後、継続的に活用していくためには多くの方の理解と協力が重要です。利用者のひとりひとりがマナーを守り、よりよい快適な屋上空間を提供したいと思えます。

オリーブ・ガーデン

(58年館屋上)

オリーブをシンボルとする公園をイメージしたデザイン。印刷会社の自然を愛める取組は、学生広場や池前、茶室などが盛り、ベンチも多く、雨空の下でくつろぐことができる。これは古い既存の建物を改修した事例は極めて画期的。



After



Before



After

グリーン・テラス

(BT4階テラス)

BTと隣接したオシャレなカフェテリアをイメージしたデザイン。中央の池ではメダカが泳ぎ、小でなびオトローブを形成している。テラールやベンチもあり、季節の花を楽しみながらゆったりと高れる時間を求めることができる。

Before



資料編

遊選 誠 (人間環境学部教授・市ヶ谷地区環境管理責任者)

法政大学において展開されている環境貢献活動の詳細は、様々な媒体によって学生・教職員、ならびにその他の方々へ周知されています。例えば、大学ホームページ、学内掲示板、そして各種印刷資料によってその内容を知ることができます。ここでは、「資料編」としてそれらのうち2005年度に発行された印刷物の幾つかをそのまま掲載することにし、また、はじめに、市ヶ谷キャンパスにおいて昨年度市ヶ谷環境委員会のもとに発足した「屋上緑化プロジェクト」が発行した資料です。このプロジェクトは学生が中心となって活動しているもので、この資料もメンバーである学生諸君が制作したものです。このほか、学生生活支援のため「コンパス」や「キャンパスライフ」を市ヶ谷ならびに多摩の両キャンパスにおいてそれぞれ定期的に発行していますが、環境活動の内容を扱った号もありますので、これらをお合わせてご覧ください。また、

法政大学における環境問題への取り組みの経緯と他大学のISO14001認証取得状況を掲載しました。さらに法政大学における環境管理規程も掲載しました。この規程はISO14001(2004年版)に対応していますので、ご参考になれば幸いです。この資料編では市ヶ谷キャンパスにおけるEMSの目的・目標となっているエネルギーやOA用紙の使用量として廃棄物の排出量についての数値やその総評についても示しています。法政大学ではここ数年、新たな教育研究組織を数置しその充実と発展に努めてきましたが、その様子を年度ごとにまとめて示しました。またこの間、新校舎・事務室などの整備も進めてきています。データの幾つかは2003年度から増加傾向を示していますが、これは教育研究活動の改善を目指して税地を取得したことなどによるものです。

法政大学屋上緑化ができるまで

「キャンパス内に緑が少ない。それなら使われていない屋上を緑化しよう」という学生からの提案が寄せられ、2004年4月、市ヶ谷環境委員会 環境教育委員会を推進主体とする「法政大学屋上緑化プロジェクト」が開始しました。

プロジェクトには市ヶ谷キャンパスで公募された学生が参加しました。学生スタッフの任務は屋上緑化プランの作成。緑化施設の見学、アンケートの実施、専門家へのヒアリングなどを渡し、「くつろげる屋上」を目指したプランを検討しました。このプランを大学側に提示し、それを基に専門業者が形になりました。また、一部緑化工事へ参加、完成記念イベントの開催、そして維持管理と、全プロセスにおいて学生が積極的にプロジェクトの活動に参加しています。

屋上緑化プロジェクトの注目

2003年 10月 学生が、環境課にて屋上緑化計画を立案
 2004年 3月 法政大学、屋上緑化実行委員会を設立、予備屋上緑化プロジェクト発足
 4月 屋上緑化学生スタッフが発足
 5月 様々な学生スタッフが環境を話し合い、緑化プランを練り上げた
 8月 学生スタッフとプロジェクト関係者が新宿区役所の屋上緑化を見学
 9月 学生スタッフ、第1回屋上緑化プロジェクト実行委員会にてデザイン案を大学側に提示、大学側から改善点などを指摘される
 2005年 1月 第2回実行委員会にて、修正したデザイン案を提示
 2月 以降、このデザイン案を元に詳細な設計図が作成される
 3月 学生の屋上緑化工事への参加を求める
 4月 屋上緑化の工事が始まる
 5月 緑化工事の士をならしと補助作業に、学生スタッフも参加
 6月 法政大学屋上緑化完成記念イベントを開催
 7月 法政大学屋上緑化完成記念イベントを開催
 8月 (カナル・シガラマ展示、講演会、学生による特別授業、見学ツアー等)
 9月 屋上緑化スペース名称募集
 10月 屋上緑化維持管理プロジェクト発足
 屋上緑化スペース名称決定

① 学生が緑化工事に参加
 危険の伴わない範囲での緑化工事への参加を求め、士をならしと緑化の作業に務めることができました。



② 屋上緑化完成記念イベント
 屋上緑化が完成したことを学内にアピールするためにイベントを開催しました。また、学外からも多数、見学に訪れました。



学生が1日ごと、様々な設備が揃いました。写真はクラマで撮影。

屋上緑化とは...

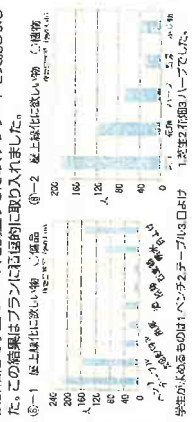
2001年、東京都の条例により屋上緑化が義務付けられたこととまっかりに近年急速に増加しています。

屋上の緑化は土壌とは異なり、荷重や風、防水などに注意しなければなりません。しかし、屋上を緑化することにより、トアイランド現象緩和、雨水排水の防止、省エネ、庄物の保護など様々なメリットを得ることが出来ます。

① 学生がキャンパス屋上緑化を提案

大学主催で毎年開かれる「環境祭」において、学生からの企画として教員のアイデアを募集してキャンパスの屋上緑化計画が立案されました。

② 屋上緑化アンケート
 このアンケートは、アンケートを実施しました。この結果はプランに直接的に反映されました。



③ 学生スタッフの提案したデザイン案
 約半年かけて作成した屋上緑化プラン。様々な工夫を凝らしたこのプランは専門家の高い評価を頂きました。



学生が作成したデザイン案。特に緑化したい場所は、緑化したい物に反映されました。

オリーブ・ガーデン

この古い既存の大学施設を緑化。これはじめて園路は、オリーブ・ガーデン。これはじめて園路は、オリーブ・ガーデン。

A. 2007年
 B. 2008年
 C. 2009年
 D. 2010年
 E. 2011年
 F. 2012年
 G. 2013年
 H. 2014年
 I. 2015年
 J. 2016年

Green Terrace

A. 花壇
 B. 花壇
 C. 花壇
 D. 花壇
 E. 花壇
 F. 花壇
 G. 花壇
 H. 花壇
 I. 花壇
 J. 花壇

グリーン・テラス

屋上に池がある。都立にひとつ、オアシスが生かされたい。

A. 花壇
 B. 花壇
 C. 花壇
 D. 花壇
 E. 花壇
 F. 花壇
 G. 花壇
 H. 花壇
 I. 花壇
 J. 花壇

④ 園路緑化
 園路の緑化は、園路の緑化。園路の緑化は、園路の緑化。

⑤ 水循環
 水循環は、水循環。水循環は、水循環。

環境配慮型設計 (LCA-Life Cycle Assessment)

環境配慮型設計 (LCA-Life Cycle Assessment) は、製品のライフサイクル全体を通じて環境への負荷を評価する手法です。環境負荷を評価することで、環境に優しい製品を開発することができます。

⑥ リサイクル
 リサイクルは、リサイクル。リサイクルは、リサイクル。

